

# 房総国際芸術祭 Boso Triennale

アート×ミックス 五感全開、旅する房総ーみんなの美術工場ー  
Art x Mix Traveling Boso - International Art Factory -  
2027.3.6-5.30



## プレイベント Pre-event

2026年3月20日、21日、22日、28日、29日の5日間限定開催  
「房総国際芸術祭 アート×ミックス2027」プレイベント

本祭に向けたプレイベントとして、今年は5日間限定のプログラムを開催します。これまで生まれた常設作品群に加え、ひと足早く新作を公開！ 2014年から続く人気イベント「おにぎりのための運動会」も各エリアで行います。詳しくは公式HPにて。

### ① 作品鑑賞

会期 : 2026年3月20日(金祝)、21日(土)、22日(日)、28日(土)、29日(日)  
会場 : 市原市(上総牛久駅周辺、旧里見小学校、旧平三小学校、月出工舎、小湊鉄道の各駅)  
木更津市(クルックフィールズ)  
共通チケット : 一般 1,000円(5日間は何度でも鑑賞可)、高校生以下無料  
※クルックフィールズは別途保全会料(中学生以上300円/小学生100円)必要  
販売場所 : 公式HP(下記QRコード)をご覧ください



### ② EAT&ART TARO「おにぎりのための運動会」

食のアーティスト・EAT&ART TAROが考案した、おにぎりをひとつきわおいしく食べるための運動会。参加者はチームに分かれ、ラジオ体操、玉入れ、綱引き、おにぎりころがし、パン食い競争などを行います。様々な世代が入り交じり白熱した後は、地域の特徴を活かしたおにぎりが登場。本作は2014年の「いちばらアート×ミックス」から継続的に開催されています。

開催日・会場 : 3月20日(金祝) 10:00-13:00頃 富来田中学校(木更津市真里谷275)  
3月28日(土) 10:00-13:00頃 B&G野球場(大多喜町大多喜486-12)  
3月29日(日) 10:00-13:00頃 旧平三小学校(市原市平蔵808)

予約申込 : 要事前予約  
公式HP(下記QRコード)よりお申し込みください(3月1日から/先着順)



料金 : 一般 1,000円、小中学生 500円、未就学児無料(食提供なし)  
※オンライン決済、または当日現金支払い  
※3月29日の参加者は、旧平三小学校のみ、会場内の作品を共通チケットなしで鑑賞可能  
※雨天中止時は参加者へ連絡

### ③ 大多喜ッズ(連携イベント)

大多喜城にて開催される「大多喜ッズ」にて、アート体験ができる芸術祭のワークショップブースを出展します。会場では、他にもマルシェや子ども向け職業体験、お悩み相談ブースなどが設けられます。

開催日・会場 : 3月28日(土) 10:00~15:00 大多喜城(大多喜町大多喜481)  
料金 : 無料



EAT & ART TARO「おにぎりのための運動会」



千田泰広(Brocken) 新作



大多喜ッズ



## 作品鑑賞パスポート Boso Triennale Passport

<区分>	<前売 2027.3.5まで>	<会期中 2027.3.6~5.30>
大人(19歳以上)	3,000円	3,500円
中人(16~18歳)	1,000円	1,500円
小人(15歳以下)	無料	無料

※区分は購入時点の年齢による  
※個別鑑賞券は別途設定  
※障がい者手帳をお持ちの方は無料(介添が必要な場合は同行者1名無料)

【販売開始時期】2026年夏頃(予定)  
※企画発表会の開催に合わせて販売を開始  
※販売に先行して、2市1町のふるさと納税返礼品としても登録。ただし、返礼品の発送は2027年1月以降予定

【販売方法】各案内所での販売、および各種プレイガイドでのオンライン販売を予定

【大口購入】		
<購入数>	<価格/冊(大人)>	<特典>
20冊以上	2,700円(前売) 3,200円(会期中)	なし //
100冊以上	2,700円(前売) 3,200円(会期中)	あり※詳細は公式HPにてご確認ください //

## アクセス Access

東京から房総まで1時間

作品・会場ごとに最寄り駅は異なりますが、いずれも東京・横浜・成田・羽田方面から車・鉄道・バスで約1時間以内とアクセスの良いエリアです。アクセスの詳細は追って公式HPにてご案内します。

## 寄附/協賛 Donation/Sponsorship



## お問い合わせ先 Contact Information

房総国際芸術祭実行委員会事務局  
〒292-8501 千葉県木更津市富士見一丁目2番1号  
TEL : 0438-38-6563  
FAX : 0438-23-0075  
E-Mail : info@boso-artmix.com  
https://boso-artmix.com/  
公式HP



Photo by Endo Tadashi, Kioku Keizo, Ishizuka Gentaro, Nakamura Osamu

房総国際芸術祭 アート×ミックス2027  
2027(令和9)年3月6日(土)~5月30日(日) 火・水定休(GWは除く)、64日間  
主催 : 房総国際芸術祭実行委員会(千葉県、市原市、木更津市、大多喜町)  
会場 : 市原市、木更津市、大多喜町の各地  
総合プロデューサー : 小林武史  
総合ディレクター : 北川フラム  
Boso Triennale 2027  
2027.3.6-5.30 / Closed on Tuesdays and Wednesdays  
Organizer: Boso Triennale Executive Committee  
(Chiba Prefecture, Ichihara City, Kisarazu City, Otaki Town)  
Venues: Ichihara City, Kisarazu City, Otaki Town  
General Producer: Kobayashi Takeshi  
General Director: Kitagawa Fram



房総国際芸術祭  
Boso Triennale

01.  
八幡宿駅周辺  
Around Yawatajuku Station



02.  
五井駅周辺・梨ノ木公園  
Around Goi Station・Nashinoki Park



03.  
市原歴史博物館  
Ichihara History Museum



04.  
上総牛久駅周辺  
Around Kazusa-Ushiku Station



千田泰広 (Analemma)

05.  
内田未来楽校  
Uchida Mirai Gakko



07.  
旧平三小学校  
Former Heisan Elementary School



06.  
市原湖畔美術館  
Ichihara Lakeside Museum



08.  
旧里見小学校  
Former Satomi Elementary School



豊福亮 (里見ブランドミュージアム)

09.  
月崎・田淵  
Tsukizaki・Tabuchi



木村素人 (森ラジオ ステーション × 森道会)

10.  
月出工舎  
ARS TSUKIDE



岡田啓里 (《月が生まれたとき》)

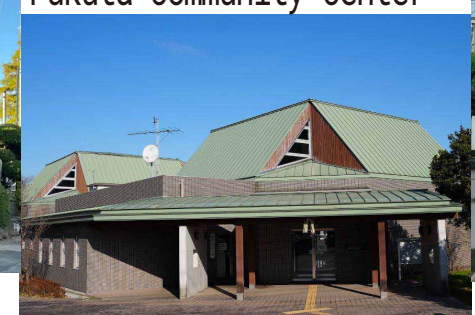
11.  
大多喜町役場  
Otaki Town Hall



12.  
城下町通り  
Castle Town Street



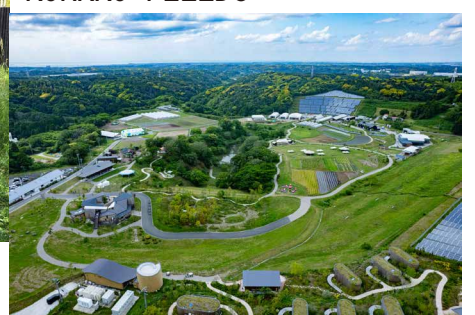
13.  
富来田公民館  
Fukuta Community Center



14.  
馬来田駅  
Makuta Station

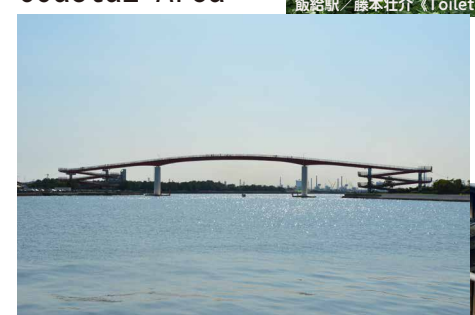


15.  
クルックフィールズ  
KURKKU FIELDS



飯給駅 藤本社介 (Toilet in Nature)

16.  
海岸部  
Coastal Area



上総牛久駅 / 藤本社介 (里山トイレ)

17.  
小湊鉄道各駅舎  
Kominato Railway Stations



アートの舞台  
Art Sites



市原市

木更津市

大多喜町

房総国際芸術祭 アート×ミックス2027

千葉県市原市では、地域課題の解決や交流人口拡大を目的に、2014年から芸術祭「いちほアート×ミックス」を開催し、地域の魅力の再発見と活用に取り組んできました。これを継承し、2024 年は内房総 5 市（市原市、木更津市、君津市、袖ヶ浦市、富津市）にて官民協働で「千葉県誕生 150 周年記念事業 百年後芸術祭～環境と欲望～内房総アートフェス」を展開。2027 年はそれをさらに発展させ、千葉県、市原市、木更津市、大多喜町が連携し「房総国際芸術祭 アート×ミックス2027」を開催します。

五感全開、旅する房総 ーみんなの美術工場ー

房総半島まるごとの千葉県は、鎌倉殿が勢力を拡大し、のちに各地で城下町が形成された関東の歴史的拠点であり、古くは国分寺から遡る古墳文化の華やかな地であり、2500 万年前にはユーラシア大陸から離れていく日本列島の牽引の大地でした。近代以降、この豊かさを育む里山や歴史的な風景とともに、日本有数の工業地帯として、また首都圏の大切な住宅地として発展し、今や日本列島の縮図ともいえる地域として存在感を持ってきました。

本芸術祭では、2 市 1 町の各地にアート作品と音楽・ライブパフォーマンスを展開し、来場者は、半島を縦断する鉄道、車、自転車、徒歩などで地域を旅します。太平洋を臨むフロンティアの地に、世界各地から作家が集い、世界へと開かれた国際的な芸術祭の拠点として歩み始めます。ここでは「みんなの美術工場」の構想のもと、ものづくりに注目し、作家の滞在制作やシンポジウム、ワークショップを開催します。さらに、木更津のクルックフィールズを立ち上げた小林武史が、この地域の特徴を活かした音楽・ライブパフォーマンスを手掛けます。また各エリアの食施設と連携し、地産地消メニューや新しい食体験を考案。芸術祭を訪れる人々と地域との交流も創出します。

多様な文化を育んできた房総の地で、美術・文化を題材とした地域づくりを始めるべく、千葉県・市原市・木更津市・大多喜町が「房総国際芸術祭 アート×ミックス2027」を開催します。地域の産業・文化・美術・音楽を、海外から学びつつも、地域の力のなかで育てていこうとするものです。

名称：房総国際芸術祭 アート×ミックス2027  
会期：2027 年 3 月 6 日 (土)～5 月 30 日 (日) 火・水定休 (GWは除く)、64 日間  
会場：市原市、木更津市、大多喜町の各地  
主催：房総国際芸術祭実行委員会 (千葉県、市原市、木更津市、大多喜町)

総合プロデューサー：小林武史 (音楽家)  
総合ディレクター：北川フラム (アートディレクター)  
アートディレクター：豊福亮 (アーティスト)  
デザインディレクター：長嶋りかこ (グラフィックデザイナー)



通底稲劇・通底春劇 (super folklore)



森靖 (Start up - Statue of Liberty)

